2022 Hyojeong Cosmic Blessing Festival

2022

天地人참부모 孝情

天宙祝福祝祭

Officiated by the True Parents of Heaven, Earth and Humankind

ガイドブック





천지인참부모님

天地人真の父母様

True Parents of Heaven, Earth and Humankind

ご挨拶

新郎新婦の皆様へ

“春が来れば、山に野原にツツジが咲くよ。ツツジの咲くところ、私の心も咲いて（韓国の動揺「春が来れば」）”

この美しい春の季節に長い準備の過程をよく過ごされ、天の父母様と真の御父母様の大きな愛と恵みの中で、天地人真の父母天宙聖婚62周年記念『2022天地人真の父母 孝情天宙祝福祝祭』で祝福を受けられますことを心からお祝い致します。

真のお母様は、自叙伝『平和の母』で、御父母様の聖婚式に対して以下のように語られています。

“春は新しい出発を意味します。私は、希望の季節である春が好きです。これまでの寒い冬から抜け出し、眠りから目覚めた生命が躍動し夢を描いていくことを願うからです。統一家の歴史もいよいよ春を迎え、新たに出発しなければならないと考えました。その日、地上に真の父母の家族が現れることで、神様の摂理史は新たな扉を大きく開きました。生死の薄水を踏むような日々を超えて行われた結婚式は、神様の最も喜ばれる日となりました。”

また、天暦3月16日真の御父母様が聖婚された日に対して次のようにも語られました。

“人間として、最も大切に考えなくてはいけないことは、子女であれば父母です。父母の聖婚記念日です。この日だけが永遠に人類の前に受け継がれていきます。摂理の完成は春に出発します。春の季節から出発して完成しなければなりません。[中略]
天の父母様は春に出発されました。冬の間にすべてを準備されるので、春に開花し、希望の種を芽生えさせようとされました。そのため人類の前に、天の前に最高の日は3月16日です。“

このような尊い日に祝福を受けられる皆様は、本当に福の多い皆様です。祝福は天が人類に下さった最も尊い贈り物です。天の父母様は、ご自身の愛によって創造された人類が正しく成長し、天の父母様に似た善男善女として、ご自身の大いなる愛の中で結婚式を挙げる1日を、首を長く待っておられました。この偉大なる天の父母様の夢を、成就されたのが真の御父母様です。そして真の御父母様は、皆様にも天の父母様の夢をかなえて差し上げる善男善女になられることを懇切に願っておられます。

春の季節のどの花よりも素晴らしく美しい新郎新婦の皆様。
この祝福を受けられ、愛する伴侶とともに“天の父母様の下の人類一家族の理想”を成就され、平和な世界を作ることに貢献される幸せで美しい家庭を築くことができますようにお祈り申し上げます。

世界本部祝福処　局長　文仁杓

天地人真の父母様 天地聖婚62周年記念

2022天地人真の父母様
孝情天宙祝福祝祭

ガイドブック

CONTENTS

- 祝福の場に臨む皆様へ _ 3
- 一世における祝福行事とその意義 _ 4
  - ・聖酒式
  - ・祝福式
  - ・蕩減棒行事
  - ・40日聖別期間
  - ・三日行事
  - （参考）一世の家庭出発の流れと基準
- 二世における祝福行事とその意義 _ 12
  - ・祝福式
  - ・40日精誠期間
  - （参考）二世の家庭出発の流れと準備
- 40日精誠 ワークシート _ 15



祝福の場に臨む皆様へ

祝福おめでとうございます。

この場に来るまでに、喜びだけでなく、

たくさんの苦労や信仰的闘いがあったことと思います。

多くの精誠を尽くし、個人路程における試練も乗り越えてきました。

その背後には、家族や兄弟姉妹の涙の祈りもありました。

神様は、そのことを全てご存知です。

そして、この場に参加する一人一人に、最高の祝福を授けて下さいます。

また、これから皆様は、一人の人生から

天が与えて下さった相対と共に歩む人生になります。

二人で手を取り合って、祝福中心家庭として出発していきましょう。

祝福の意義と価値

- 祝福式は、神様の真の愛を受ける「愛の伝授式」であり、神様の創造の権能を相続する「相続式」です。
- 一世は、祝福を通じて、サタンの血統圏から脱し、神の血統へ接ぎ木されるための「血統転換」がなされます。
- 二世は、祝福を通じて、父母の伝統を相続し、神様の理想の定着点である「三代圏理想」を実現していきます。

一世における祝福行事とその意義

エデンの園での失敗を蕩減し、清算して、本然の夫婦として出発するためのプロセス

約婚式	アダムとエバが約婚段階で堕落したために、約婚（マッチング）から血統転換の役事が始まる。
聖酒式 (内的血統転換)	メシヤ（真の父母）を通して原罪の清算がされる儀式。
祝福式	原罪が清算された位置（長成期完成級を越えた立場）で行われる結婚式。
蕩減棒	アダムとエバが下部で罪を犯し、堕落したことを蕩減復帰する儀式。
（40日聖別期間）	アダムとエバが、成長途上で堕落することにより、神との縦的関係が切れたので、これを蕩減復帰するための40日間の期間。40日以降も三日行事まで聖別期間は延長されます。
三日行事 (実体的血統転換)	結婚した二人が、本然の夫婦となるための儀式。



聖酒式

聖酒式の意義

約婚した皆さんは、祝福式の前に聖酒式をするようになりますが、それは堕落の血を交換する血統転換式です。堕落した人間は、サタン世界の偽りの愛によって汚された過去のすべての愛を否定し、新しく神様の愛を中心として、真の父母の愛を再現させることのできる復活的な実体を備えずには、祝福の場に出ることができません。ですから聖酒式は、とりもなおさず、真の父母の愛の関門を通して新しい生命の基準を立てることを約束する儀式なのです。（『祝福家庭と理想天国(Ⅰ)』907ページ）

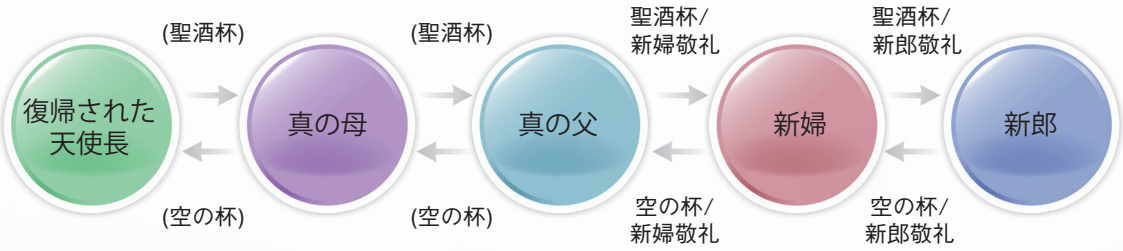
堕落によって汚された血統を継承したので、それを転換しなければなりません。これをしなければ原罪を脱げず、原罪を脱がなければ真の子女として祝福を受けられる段階に上がることができません。原理がそのようになっています。堕落によって生じた原罪を脱ぐ血統転換、すなわち血肉を交換する式が聖酒式です。
（『祝福家庭と理想天国（Ⅰ）』906〜907ページ）

聖酒にはサタンの讒訴のない万物の要素がすべて入っています。その聖酒を受け、真の父母と一つとなった者が自分を汚す行為をすれば、サタンよりももっと恐ろしい立場に立つようになります。サタンは長成期完成圏を汚し蹂躙しましたが、祝福を受けた者が誤れば、完成期完成圏で神様の実体を犯した罪が残るので、永遠に許しを得ることができません。これは実に恐ろしいことです。
（『祝福家庭と理想天国(Ⅰ)』913ページ）

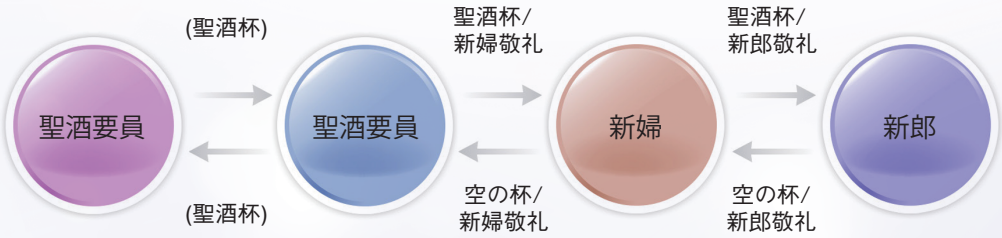
1. サタン世界で生まれた人間が真の父母様によって生まれ変わる蕩減の式であり、女性が先に堕落したので女性が先に復帰され、男性を生むようにする過程を内的に通過する儀式です。
2. 原罪を清算して神様の子女になるようにするのです。聖酒式は善と悪の分岐点であり、神様とサタンの岐路が決まり、生命と死を分ける線になります。第1イスラエルになる条件が割礼で、第2イスラエルになる条件は洗礼で、第3イスラエルになるための儀式が聖酒式なのです。

聖酒式の手順

• 代表家庭 •



• 全体家庭 •



- まず、聖酒式参加者は、真の父母様の代身者の立場にある主礼夫婦に敬礼する。
- 主礼婦人(真の母の代身)が聖酒杯を主礼(真の父の代身者)に手渡す。
- 主礼が聖酒杯を新婦に渡す際、新婦は敬礼をし、聖酒杯を受け取り、半分を飲んで二人が向き合う。
- 新郎は新婦に敬礼をし、聖酒杯を受け取り、残った聖酒をすべて飲む。
- 新郎は新婦に敬礼をして、空の聖酒杯を返す。
- 新婦は主礼に敬礼をしてから、空の聖酒杯を返す。
- 最後に主礼は空の聖酒杯を主礼婦人に返す。
- 空の聖酒杯を受け取った後、祝祷をする。

※ 聖酒式 祝祷時の手の位置

1) 新郎の右手のひらを上に向けて開く。
2) 新婦の右手のひらを新郎の右手のひらの上に合わせる。
3) 新郎の左手のひらで新婦の右手の甲を上から被せる。
4) 新婦の左手のひらで新郎の左手の甲に上から被せる。
5) 主礼婦人（真の母の代身）の左手のひらで新郎の右手の甲を下から支える。
6) 主礼（真の父の代身）の右手のひらで新婦の左手の甲を上から被せる。

祝福式

祝福式の意義

結婚式は、まさに愛の伝授式です。神様の愛をもって父母が生きるように、皆さんも父母の愛を神様の愛の代身として受け、このように生きなさい、という愛の伝授式が結婚式です。…… 結婚式というのは、愛の顕現をいうと同時に、創造権と主管権を付与されることをいいます。

きょうのこのような聖礼式は、神様の願いであり理想でした。

アダムとエバが成熟すれば、成し与えようとした聖礼式なのです。創造理想の心情の中にあったものとして、実に歴史的なことです。こういう式典は、創造以後初めて開かれたものであると、深く感じるべきです。イエス様の時の三弟子は、その師と生死を共にすべきでした。これからは、皆さんの体が皆さんの体でないということを銘記して進みなさい。祭物の立場だという心情をもって進みなさい。

（『祝福家庭と理想天国（Ⅰ）』 922〜923ページ）

祝福結婚式は、ただ単に男女が出会い、一つの家庭を成す婚礼式ではありません。今までの結婚式は、自分を中心としたものでしたが、私たちの結婚式は、神様に喜びを返し得るだけの内容をもって、歴史を蕩減する条件として、神聖で盛大に挙行されなければなりません。私たちの結婚式とは、アダムとエバの堕落で始まった神様の恨を解怨し、イエス様が成し遂げられなかった新郎新婦の基準を通過することであると、「原理」は明らかに説明します。 （『祝福家庭と理想天国(Ⅰ)』79〜80ページ）

基本的な流れ

主礼の入場	介添人が立って主礼を迎える
聖水式	新郎新婦の身を清め、蕩減復帰した立場に立てる
聖婚問答	天の前に新郎新婦が誓いを唱える ① 真の夫婦の因縁を結ぶ　② 統一家の伝統を立てる ③ 真の子女を育成する　④ 家庭理想と天国創建
主礼の祝祷	新郎新婦が祝福家庭となることを天の父母様へ報告する
指輪交換	永遠の愛の誓いを交わす
聖婚宣布	天に公認された本然の夫婦の誕生を宣布
花束・礼物贈呈	真の父母様への感謝の表明

蕩減棒

蕩減棒の意義

私たちは蕩減棒で打たれたでしょう？　それはなぜですか。臀部を過って使ったから打たれたのでしょう？　それは遊びではありません。三時代の血統を汚した恨みの峠を越えるための条件物です。その痛みが消えるときには息子娘が解放兵の立場で天の前に両手をあげて万歳を叫ぶことができるのです。その時には天地万物と天の国全体が「万歳」と喜び歌わなければなりません。（215－86，1991.02.06.）

1. 聖書を見ると、アダムが堕落したその復帰の条件として、ヤコブは腿のつがいが抜けました。それゆえ、ユダヤ人は腿に手を入れて誓います。ヤコブのときのように骨が抜けては困るから蕩減棒で越えるのです。
2. 人間始祖は不倫の罪を犯し、堕落することによって夫婦が怨讐関係になりました。ゆえに、歴史以来、夫婦はささいなことで恨みや憎しみの怨讐関係に陥りやすいのです。この怨讐を解かなければ、真の愛による夫婦関係を結ぶことはできません。そのために蕩減棒が必要です。
3. 愛する夫、妻を打つのは、再び堕落することの無いように、これから命がけで協力し合って相手を守っていくという信念を固めるためでもあります。
4. 祝福を受ける前に犯したすべての罪、悪なる考え、言葉、行動、生活、男女関係等、すべてをかけて蕩減棒でお互いに清算し合うのです。痛みを通じて、絶対的に純潔を守って、真の愛の理想的夫婦となり、子女を神様のみ言によって、養育し、理想家庭をなしていくことを決意する場でもあります。

方法

1. 新郎が新婦の臀部(でんぶ)を三回打つ
2. 新婦が新郎の臀部を三回打つ

※ 同情心をもって打っては条件になりません。歴史的怨讐を追い出すつもりで打ってください。痛さは悔い改めのチャンスになり、その痛みを通じて、数多くの犠牲を払わなければ乗り越えることの出来なかった悲惨な復帰歴史を思わなければなりません。
(注、尾てい骨を打たないように注意する)

40日聖別期間

40日聖別期間の意義

それから、この式が終わった後に、40日間の聖別期間が必要です。それが何かというと、40年期間に該当するのです。先生の40年期間に相当するのです。皆さんは40数を越えなければならないのです。復帰路程でメシヤを4千年後、迎えるのです。ヤコブから4千年後に再臨主を迎えるのです。その4千年数を越えなければならないのです。ですから今この場所から飛び立ち、それと同じ40数を越えて進まなければならないのです。イエス様も40歳で聖婚式を挙げなければならないというのです。原理がそうなっているのです。

それをここで全部蕩減しなければなりません。蕩減は愛を中心としてしければなりません。すべてのものは、天の父母様の愛を受け継ぐことができる40の峠を越えてはじめて愛を実らせるのです。これは4千年歴史を蕩減するものです。

アダムからイエスまで4千年の間は愛を探すための歴史ですね？　またヤコブを立てて再臨主まで4千年を延長してきたのも、愛を探すためです。理想夫婦を探すためのものなのです。そうでしょう？　目的はそれしかないというのです。ですから40日は、それを蕩減的な条件で立てる期間なのです。この期間には、全体のみ旨を思って、天の国を慕いながら行くのです。自分の妻や夫を思う期間ではありません。共同的な立場でその国とそのみ旨のために精誠を尽くすのです。いいですか、40日？（「はい」）40日の間は夫婦関係を持つのではありません。40日期間が終わってから夫婦生活に入るのです。

（90－128～129，1976.10.21.）

1. イエス様と真の父母様の聖婚前の生涯40年を蕩減する期間
2. ヤコブ以降、再臨主を迎えるまでの四千年の期間を蕩減する期間
3. 夫婦の愛を探す前に、先に神様の愛を受け継ぐために精誠を尽くす期間
4. 理想的な夫婦になるために、聖別をしながら公的な立場でみ旨を中心に精誠を尽くす期間

40日間の過ごし方

1. 男性は女性を姉または、母のように侍り、女性は男性を母の心情で教え育て、影響を与えていく。このような実績が夫婦の一生の心情の土台となります。
2. 女性が真の父との間に確立した心情を中心として、男性を高める心をもって歩めば、男性は深い感動を受けて、真の父と女性との縦的関係が夫婦の横的関係に実るのです。
3. 天使長は自分の意見を絶対に出しません。エバの命令だけを守って、どうすればエバが喜ぶかを研究するのです。こうした過程を経てから、女性が男性に主管されても男性を愛し、尊敬するような基準が立って初めて、夫が妻を主管する道が開かれるのです。
4. 夫婦は情的な授受ができるのが理想です。情を尽くしたレベルが同じであれば、初めて会った人でも、共に尽くし合った情関係をすぐに結べるのです。このような心情の基台をつくるのが40日期間です。

※ 40日以降も三日行事までは延長期間として聖別を守ります。

三日行事

祝福を受けて四十日が過ぎたのちには、三日間にわたって実体的な復帰式があります。この四十日期間は歴史的であり、総合的な蕩減期間なのです。人間が愛を中心として復帰の権限をもつようになるのは、蘇生期でもなく、長成期でもありません。完成期に入らなければならないのです。

アダムの時代と次の時代は、失敗の時代です。その結果、旧約時代の神様の蘇生的な愛圏を継承できずに、キリスト教を中心として神様の長成的な愛を受け継ぐことができませんでした。その蘇生、長成の愛圏を受け継いだのちにこそ、完成的な成約時代圏に立てるようになるのです。そのような条件を立てることが、三日行事の実体復帰式である蕩減式です。三日行事の実体復帰式の最初の日は、旧約時代の復帰です。堕落したアダム、旧約圏を復帰するのです。二日目は、新約時代のイエス様の立場を蕩減復帰するのです。三日目は、イエス様を代身した新郎として、新婦を再創造するのです。そこから初めて正式軌道に乗って出発することができます。このように、具体的に蕩減条件を立てることは複雑です。　（『祝福家庭と理想天国（Ⅰ）』926ページ）

（参考）一世の家庭出発の流れと基準

家庭出発の流れ

祝福式参加 → 40日聖別期間 ＋延長期間 → 家庭修参加 → 三日行事 → 家庭出発報告書の提出

家庭修練会の参加基準（家庭出発基準）

- 祝福式後4か月を経過した場合、年齢に関係なく本部主催の家庭修練会に参加し、家庭出発できる。
- 下記の場合、所定の教育を受ければ年齢に関係なく、40日聖別期間を経た後、本部主催の家庭修練会に参加し、家庭出発できる。
  ① 信仰の子女がそれぞれ１２名以上いる場合
  ② 再祝福（基台あり）で、最初の祝福を受けた後３年を経過した場合

※ 既成家庭の場合
① 祝福式に参加した翌日から数えて40日聖別、現場教育後、家庭出発できる。
② 子女出産可能な年齢の家庭は、40日聖別後、本部主催の家庭修練会に参加した後、家庭出発できる。

なぜ、祝福リングは右手の薬指につけるのか？

一般的には、結婚指輪は左手の薬指につけます。古代ローマにおいては、左手の薬指には、心臓につながる太い血管があると信じられていました。心臓は、ハート、つまり「心」を象徴していたため、男女のお互いの心をつなげるために、結婚式で永遠を象徴する指輪を取り交わすようになったと言われています。

真のお父様のみ言によれば、親指は神様を、小指は息子・娘を、薬指は息子・娘を産むための夫婦の愛をそれぞれ象徴しています。それゆえ、その薬指に真の愛の証である指輪をつけるのだと解説されたことがありました。

また、右側は象徴的に神側を表しています。聖塩による聖別の際も、右手で行うのが伝統となっています。そこから、祝福リングを右手につけるようになったと言われています。

二世における祝福行事とその意義

祝福式

結婚式は、まさに愛の伝授式です。神様の愛をもって父母が生きるように、皆さんも父母の愛を神様の愛の代身として受け、このように生きなさい、という愛の伝授式が結婚式です。…… 結婚式というのは、愛の顕現をいうと同時に、創造権と主管権を付与されることをいいます。

きょうのこのような聖礼式は、神様の願いであり理想でした。

アダムとエバが成熟すれば、成し与えようとした聖礼式なのです。創造理想の心情の中にあったものとして、実に歴史的なことです。こういう式典は、創造以後初めて開かれたものであると、深く感じるべきです。イエス様の時の三弟子は、その師と生死を共にすべきでした。これからは、皆さんの体が皆さんの体でないということを銘記して進みなさい。祭物の立場だという心情をもって進みなさい。

（『祝福家庭と理想天国（Ⅰ）』922～923ページ）

私たちの結婚式というものは、世の中だけでなく、天が保障してくれるのです。天が保障してくれ、その次に、真の父母、平和の王になる父母様が保障するというのです。天の国の平和の王である神様と地上の平和の王が、皆さんに永遠の祝福をしてあげるのです。

皆さんの日常生活において、真の父母のようにみ旨にかなった生活をして、美しい結果、花を、生涯において咲かせなければなりません。そのような責任を果たすことを決心してくれることを願います。

（二〇〇四年 特別祝福式に参加した祝福二世に語られたみ言　2004/12/26）



基本的な流れ

主礼の入場	介添人が立って主礼を迎える
聖水式	新郎新婦の身を清め、蕩減復帰した立場に立てる
聖婚問答	天の前に新郎新婦が誓いを唱える ① 真の夫婦の因縁を結ぶ　② 統一家の伝統を立てる ③ 真の子女を育成する　④ 家庭理想と天国創建
主礼の祝祷	新郎新婦が祝福家庭となることを天の父母様へ報告する
指輪交換	永遠の愛の誓いを交わす
聖婚宣布	天に公認された本然の夫婦の誕生を宣布
花束・礼物贈呈	真の父母様への感謝の表明

40日精誠期間

40日精誠期間が定められた背景

二世家庭は、「蕩減条件」としての聖別は必要ないとされてきました。しかし、2005年2月、天一国基準による二度目のマッチングが行われた際、真のお父様は二世家庭に対して、神様の愛を相続していくための精誠条件として、40日精誠の実施をご指導され、その後、国際規程として定められました。

40日精誠期間の意義

1. 与えられた祝福に対して、天への感謝と精誠を捧げていく期間
2. 相対関係において、お互いを天から与えられた者として向き合っていくための期間

※ この期間は、二人で天の前に感謝を捧げる期間として、スキンシップは兄弟姉妹の関係を越えないようにしましょう。

ルーツを知ろう！
祝福子女である皆さんは、一世祝福の血統転換の土台があって、神様の祝福子女として誕生しました。このガイドブックには、一世祝福の内容も載っています。是非読んでみてください。両親に対する感謝や天の血統への確信が深まるはずです。

（参考）二世の家庭出発の流れと基準

家庭出発の流れ

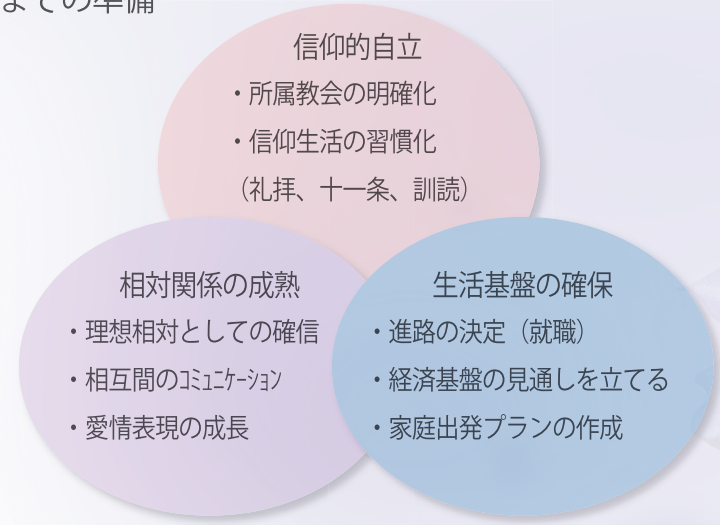
祝福式参加 → 40日精誠期間 → 二世家庭出発修参加 → 入籍 / 同居生活の開始 / 初めて夫婦関係を持つ → 家庭出発報告書の提出

※ 入籍⇒同居生活の開始⇒初めて夫婦関係を持つ流れが望ましい。それぞれ期間が空きすぎない方が良い。

家庭出発（初めて夫婦関係を持つ）時の伝統

1. 「初愛」の一日を大切にするため、あらかじめ夫婦で日取りを決め、準備する。
2. 事前に、両家の父母や所属教会の牧会者に報告し、祈ってもらう（推奨）。
3. 当日は、部屋を聖別して身を清め、真尊影（父母様のお写真）を掲げ、天一国聖燭を灯し、夫婦で敬礼を捧げ、祈祷をもって出発する。

家庭出発までの準備





40日精誠 ワークシート



これから始まる皆さんのための40日

皆さんは、今、新しい人生の出発点に立っています。

皆さんは、一人ではなく、永遠に共に暮らす相対を得ました。
その相対との愛にあふれた幸せな人生を出発するにあたり、
祝福式後40日の期間、精誠を尽くし、充実した期間としてください。

二人で神様の前に捧げた40日間の精誠が、
今後の二人の人生の灯となり、真の家庭を築く土台となることでしょう。

40日間のアクションプランとチャレンジプランを立てよう！！

この期間、二人で天の前に精誠を尽くすという目的で、40日間毎日行うアクションプランと、期間を通じて挑戦するチャレンジプランを二人で話してみましょう！そして、WORKSHEETに書きこみ、実践していきましょう！

アクションプランの例

二人で一緒に訓読条件を立てる
お互いのために祈り合う
心情日誌を書く

チャレンジプランの例

伝道活動や教会での奉仕活動にチャレンジする
祝福家庭の先輩を訪問し、話を聞く
二人で人生計画を立てる



40日精誠　WORKSHEET

アクションプラン（毎日行うこと）

チャレンジプラン（期間を通じて挑戦すること）

カレンダーチェックシート

アクションプランを実施したら☑を入れ、行ったチャレンジ内容を実施日の箇所に書く

	日	月	火	水	木	金	土
4月	10	11	12	13	14	15	16
							祝福式
	17 1日目 ☐	18 2日目 ☐	19 3日目 ☐	20 4日目 ☐	21 5日目 ☐	22 6日目 ☐	23 7日目 ☐
	24 8日目 ☐	25 9日目 ☐	26 10日目 ☐	27 11日目 ☐	28 12日目 ☐	29 13日目 ☐	30 14日目 ☐
5月	1 15日目 ☐	2 16日目 ☐	3 17日目 ☐	4 28日目 ☐	5 19日目 ☐	6 20日目 ☐	7 21日目 ☐
	8 24日目 ☐	9 25日目 ☐	10 26日目 ☐	11 27日目 ☐	12 28日目 ☐	13 29日目 ☐	14 30日目 ☐
	15 31日目 ☐	16 32日目 ☐	17 33日目 ☐	18 34日目 ☐	19 35日目 ☐	20 36日目 ☐	21 37日目 ☐
	22 38日目 ☐	23 39日目 ☐	24 40日目 ☐	25	26	27	28



天地人참父母 天宙聖婚 62周年 記念

2022 天地人참父母 孝情 天宙祝福祝祭

2022 Hyojeong Cosmic Blessing Festival
Officiated by the True Parents of Heaven, Earth and Humankind
Celebrating the 62nd Anniversary of True Parents' Holy Wedding

하늘부모님성회
세계평화통일가정연합